

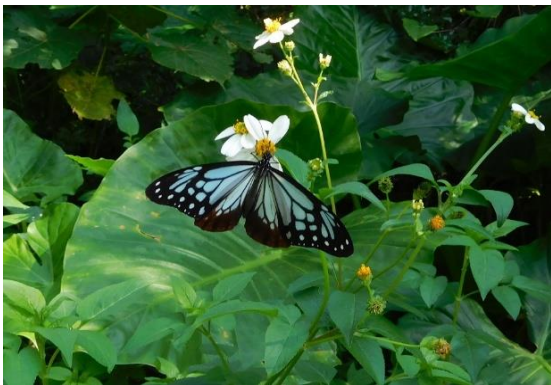
和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
アサギマダラ	タテハチョウ科	大型、半透明の薄い藍色が目立つ優雅な飛び方	X	X	△	関東太平洋沿岸～ 西日本以南



入笠山 8月中旬 個体数が増え出す頃。秋に南に渡る

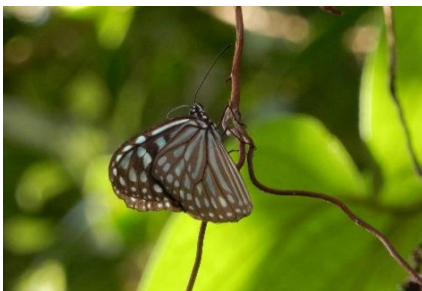
成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○食草		食樹		発生回数/年			越冬形態				
キジョランほか				3			幼虫				

あさぎ色（浅葱色）とは薄い藍色で日本の伝統色のひとつです。羽のあさぎ色の部分は半透明で余り羽ばたかず風に乗って飛んでいる姿は優雅そのものです。



宮古島 伊良部島 3月下旬

秋に南方（与那国、台湾方面）に集団で渡り、春はその逆の渡りをするのが知られていますが、風に乗るとはいえ2000キロもの距離を移動していることになります。この長距離移動の実態を把握するために、各地で捕らえては記録を羽に記し、また放すという「マーキング調査」があちこちで行われています。



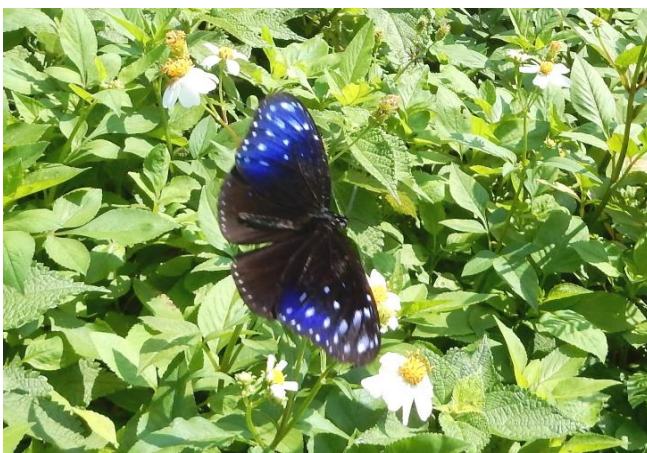
1. リュウキュウアサギマダラ 宮古島



2. スジグロカバマダラ 宮古島



3. オオゴマダラ 宮古島



4. ツマムラサキマダラ 宮古島

宮古島（沖縄南西諸島）のマダラチョウ（3月下旬）

- リュウキュウアサギマダラ
奄美大島以南に分布
- スジグロカバマダラ
八重山諸島以南に分布。アメリカにいるよく似た Monarch butterfly と呼ばれるオオカバマダラが、大規模かつ長距離（カナダとカリフォルニア或いはメキシコ間）の移動をすることが知られている
- オオゴマダラ
喜界島、沖縄島以南に分布する大型のマダラチョウ。いきなり出くわすとその大きさに驚かされる
- ツマムラサキマダラ
沖縄島以南に分布。南の蝶特有の紫の幻光を発する



ツمامラサキマダラ ハマセンダンに飛来 石垣島バナナ公園 10月中旬



ツمامラサキマダラ センダングサに飛来 石垣島名蔵ダム 10月中旬